

## 2015年度第2四半期（4-9月）決算の概要

### 1. 経営成績

- (1) 連結売上高は、原料価格下落に伴う販売価格の改定などにより、前年同期比4.7%減の784億円となりました。
- (2) 利益面では、円安や原料価格の下落の影響に加えコストダウンなどにより、連結営業利益は前年同期比77.0%増の60億円、連結経常利益は前年同期比70.3%増の65億円となりました。
- (3) 中間配当は、前期末配当と同じ1株当たり8円とさせていただきます。

(単位：億円)

	連 結			単 体		
	2014年度 第2四半期累計	2015年度 第2四半期累計	伸び率(%)	2014年度 第2四半期累計	2015年度 第2四半期累計	伸び率(%)
売 上 高	823	784	△4.7	516	497	△3.7
営 業 利 益	34	60	77.0	13	27	108.7
経 常 利 益	38	65	70.3	24	40	68.2
四 半 期 純 利 益(*)	23	36	58.0	17	30	72.5

(\*) 連結ベースでは、「親会社株主に帰属する四半期純利益」

### 2. セグメント別連結売上高

(単位：億円)

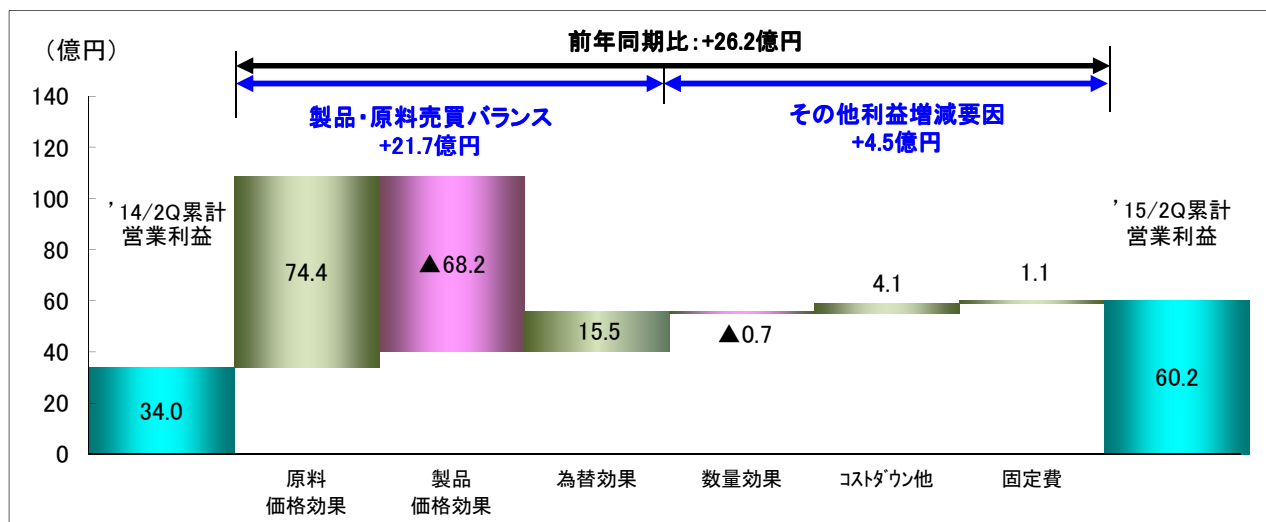
	2014年度第2四半期累計		2015年度第2四半期累計		前年同期比	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	増減	伸び率(%)
生活・健康産業関連	325	39.5	296	37.8	△29	△8.8
石油・輸送機産業関連	197	23.9	192	24.4	△5	△2.7
プラスチック・繊維産業関連	108	13.1	107	13.7	△1	△0.4
情報・電気電子産業関連	99	12.1	96	12.3	△3	△3.2
環境・住設産業関連他	94	11.4	93	11.8	△1	△1.4
合 計	823	100.0	784	100.0	△39	△4.7

### 3. セグメント別連結営業利益

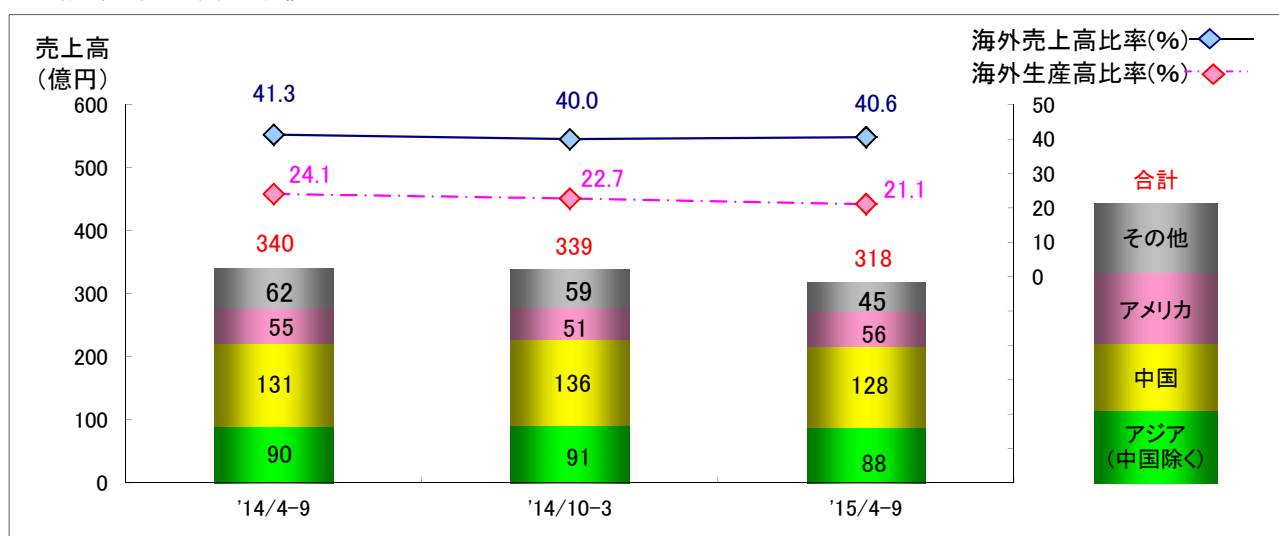
(単位：億円)

	2014年度 第2四半期累計	2015年度 第2四半期累計	前年同期比	
			増減	伸び率(%)
生活・健康産業関連	15.2	24.0	8.8	57.7
石油・輸送機産業関連	3.9	9.2	5.3	134.7
プラスチック・繊維産業関連	11.6	15.7	4.1	34.8
情報・電気電子産業関連	2.4	7.0	4.6	199.6
環境・住設産業関連他	0.8	4.2	3.4	397.6
合 計	34.0	60.2	26.2	77.0

#### 4. 連結営業利益の増減分析（前年同期比）



#### 5. 連結海外売上高の推移



#### 6. 配当の状況

	1株当たり配当金			配当性向 (連結)
	中間	期末	年間	
	円銭	円銭	円銭	%
2013年度	7.50	7.50	15.00	33.6
2014年度	7.50	8.00	15.50	29.1
2015年度	8.00	8.00 (予想)	16.00	23.5

#### 7. 2015年度業績予想

当第2四半期累計期間は、原料価格が期初の想定より低い水準で推移したこと等により、利益は前回(4/30)発表予想を大きく上回る結果となりました。第3四半期以降においても、原料価格の低下傾向の継続が予測されることから、連結業績予想および個別業績予想を修正しました。連結・個別ともに販売価格の改定により売上高は減少する一方、利益は増加を見込みます。

(単位：億円)

	連結			単体		
	2015年度	前期比		2015年度	前期比	
		増減	伸び率(%)		増減	伸び率(%)
売上高	1,580	△90	△5.4	980	△76	△7.2
営業利益	120	31	34.2	55	17	43.6
経常利益	130	27	26.5	80	20	34.0
当期純利益(*)	75	16	27.6	60	16	37.5

(\*) 連結ベースでは、「親会社株主に帰属する当期純利益」

<業績予想の前提条件> 為替レート：120円/\$、国産ナフサ価格：4万円/KL

## 8. 主な設備投資と減価償却費

### (1) 設備投資額（検収ベース）、減価償却費の推移

(単位：億円)

	連 結		単 体	
	2014年度 第2四半期累計	2015年度 第2四半期累計	2014年度 第2四半期累計	2015年度 第2四半期累計
設 備 投 資 額	3 4	4 5	1 8	2 4
減 価 償 却 費	4 6	4 3	3 2	2 9

### (2) 主な設備投資

(単位：億円)

		稼働時期	総投資額
単体	ウレタンビーズ製造設備	2015年度	2
	重合トナー中間体製造設備	2016年度	1 7
	超臨界二酸化炭素を利用した微粒子化設備	2016年度	4
三大雅精細化学品（南通）	高吸水性樹脂製造設備	2015年度	6 3
三洋化成精細化学品（南通）	潤滑油添加剤製造設備	2015年度	3
SDP GLOBAL (MALAYSIA)	高吸水性樹脂製造設備	2018年度	1 1 0

## 9. トピックス

### (1) マレーシアに当社子会社が新会社を設立

当社は2015年9月29日の取締役会において、当社子会社であるSDPグローバル株式会社がマレーシア、ジョホール州に新会社（当社の孫会社）「SDP GLOBAL (MALAYSIA) SDN. BHD.」を設立することを決議しました。高吸水性樹脂（SAP）は紙おむつの原料として世界中で堅調に需要が伸びており、とりわけアセアン地域では生活水準向上に伴う子供用紙おむつの普及率上昇により、年率10%を超える勢いでの成長が見込まれます。そのような市場環境において、当社は既存の日本及び中国拠点に加え、新たにマレーシアに製造拠点を設けることを決定いたしました。新会社の資本金は約70億円（SDPグローバル100%出資）、設立年月は2015年10月です。操業開始は2018年夏を予定しています。

### (2) 潤滑油添加剤事業本部を新たに設置

当社は、主力事業の一つである潤滑油添加剤を拡販すべく、2015年10月1日より新たに潤滑油添加剤事業本部を社長直轄下に設置しました。今年度からスタートする第9次中期経営計画では、潤滑油添加剤事業を基盤4事業の一つとして位置付け、グローバル化推進による事業拡大を目指しています。当該事業本部は、営業・研究・生産を一体化した組織であり、潤滑油添加剤に関する権限・責任を事業本部長に集約することで、より迅速な意思決定や環境変化への対応のスピードアップを図り、グローバルに展開することを目的としています。

### (3) タイ・PTTグローバルケミカル社とのポリオール事業の協業検討を開始

当社は、PTT Global Chemical Public Company Ltd.及び豊田通商株式会社と共同で、タイでのポリオールの製造・販売の合弁事業を検討するために3社共同で基本設計を進める覚書を締結しました。3社は、2015年1月に趣意書を締結し、タイでのポリオール事業での協業の可能性を検討してきましたが、この度、新たに覚書を締結し基本設計に係る検討を開始することとしました。3社による当該合弁事業に係る最終投資判断は2016年後半を予定しています。

以 上